

ゆずりは

国立市立国立第二中学校
生活指導だより
令和3（2021）年6月
第3号

人との関わりの中で学んだ運動会

時折雨が降る中、5月18日に運動会を開催することができました。気温があまり高くならず、熱中症の心配が少ない中、無事に終えることができました。感染症対策のため、運動会当日の保護者参観は御遠慮いただきました。御協力ありがとうございました。本番の様子はお子様からの話で知っていただけたと思います。

当日はどの生徒も競技・応援・係・実行委員と活躍の場面がたくさんありました。旗係の人たちがこの日のために丹精込めて作ったクラス旗やうちわを精一杯振り、クラスや学年を超えて応援する姿から、行事をすることができた嬉しさが伝わってきました。すべての競技を終え、迎えた閉会式。結果発表が気になる中、校長先生の講評がありました。全員を座らせてから話が始まったのですが、すべての生徒がきちんと姿勢を保って座り、顔を上げ、朝礼台の上に視線を向け、真剣に話を聞く姿が見られました。話が進んでいっても、集中している姿は変わりませんでした。この様子を見ていて、生徒たちの可能性が見え、“喜び”を感じました。制限の多い学校生活の中で、全校生徒が集まることに対する対策と工夫を施して行った運動会。その中で、人が集まって目的や目標をもって行動することで、互いに作用しあって成長する、伸びる。その形の一つに、この話を聞く姿勢があったのです。なかなか上級生のモデルを見ての生活ができない中、初めて見る上級生の姿から下級生が学び取ることがたくさんあり、一日の中でより良い行動へと変化していきました。また、上級生も下級生たちのモデルになろうと努力していました。この運動会での経験が、今後の更なる行動の質の向上につながっていくと思います。生徒たちに備わっている力を感じることができ、幸せな一日を共に過ごすことができたこと、心温かな一日になったことに感謝の気持ちで一杯になりました。

運動会を通し、人との関わりの中で身に付けた力を、次は自分の内面の向上につなげていくことが大切です。「粘り強く取り組む」「目標を一つ一つ達成していく」「人に優しく接する」「人の役に立つ行動をする」「決めたことを最後までやり通す」など、自分にできそうなことを一つ決め、着実に取り組んでいってほしいと思います。



期末考査に向けて

6月22日から1学期の期末考査が始まります。1年生にとっては初めての定期考査になります。小学校時代の単元が終わると試験があるというものから変わり、中学校では試験範囲が示され、一定期間に集中して試験が行われます。試験というと、どうしても結果が成績に結び付くことを思い浮かべる人が多いです。もちろん、今までの学習を評価するために成績という形にまとめられます。しかし、定期考査は成績を出すためだけのものではありません。大切なポイントとして、今までの学習の定着度を自分で知るための手段であるということが挙げられます。何ができるようになり、何がまだ理解できていないのか。毎日の学習がどれくらい定着しているのかを知ることは、学習を進める上で大切なことです。そのきっかけとして、一定期間学習した内容で試験を行い、確認をします。ですから、試験が終わったあと、返却された解答を使って定着していなかった内容を復習し、新たに学ぶことが定期考査の目的の一つになります。試験の結果だけを重要視してしまうと、点数を知っておしまいになってしまいます。あくまでも、点数は定着度を表した数値です。試験に向けて準備をして授業で学習した内容を整理し、試験で身に付けた力を確認して、復習をすることでさらに内容を定着させる。定期考査は「準備→試験→復習」がすべて揃って完結します。まずは準備に取り掛かりましょう。試験までにどのくらい学習する時間があるのか、どのようなことから学習を始めるのかなど、具体的に計画を立てましょう。期末考査まで3週間で切っています。この3週間で長いと思うか短いと思うかは、復習までやり終えたときに振り返ってみてください。

